

地域包括ケアシステム

誰もが暮らしやすいまちづくり

ご存じですか？ 介護支援ボランティア制度

介護支援ボランティア制度 高齢は92歳の人です。

は、65歳以上の人が社会参加を通じて、自身の介護予防や健康増進につなげていただくことを目的とした事業です。

ボランティア活動の実情に応じてスタンプを取得し、その数に応じて年間最大5000円の交付金が得られます。現在では80カ所の介護支援ボランティア受け入れ施設があり、229人が介護支援ボランティア登録をし、自身ができる内容で活躍しています。地域で活躍してみませんか。

ボランティア活動の実情に応じてスタンプを取得し、その数に応じて年間最大5000円の交付金が得られます。現在では80カ所の介護支援ボランティア受け入れ施設があり、229人が介護支援ボランティア登録をし、自身ができる内容で活躍しています。地域で活躍してみませんか。

ボランティア活動の実情に応じてスタンプを取得し、その数に応じて年間最大5000円の交付金が得られます。現在では80カ所の介護支援ボランティア受け入れ施設があり、229人が介護支援ボランティア登録をし、自身ができる内容で活躍しています。地域で活躍してみませんか。

ボランティア活動の実情に応じてスタンプを取得し、その数に応じて年間最大5000円の交付金が得られます。現在では80カ所の介護支援ボランティア受け入れ施設があり、229人が介護支援ボランティア登録をし、自身ができる内容で活躍しています。地域で活躍してみませんか。

ボランティア活動の実情に応じてスタンプを取得し、その数に応じて年間最大5000円の交付金が得られます。現在では80カ所の介護支援ボランティア受け入れ施設があり、229人が介護支援ボランティア登録をし、自身ができる内容で活躍しています。地域で活躍してみませんか。

ボランティア活動の実情に応じてスタンプを取得し、その数に応じて年間最大5000円の交付金が得られます。現在では80カ所の介護支援ボランティア受け入れ施設があり、229人が介護支援ボランティア登録をし、自身ができる内容で活躍しています。地域で活躍してみませんか。

ボランティア活動の実情に応じてスタンプを取得し、その数に応じて年間最大5000円の交付金が得られます。現在では80カ所の介護支援ボランティア受け入れ施設があり、229人が介護支援ボランティア登録をし、自身ができる内容で活躍しています。地域で活躍してみませんか。

ボランティア活動の実情に応じてスタンプを取得し、その数に応じて年間最大5000円の交付金が得られます。現在では80カ所の介護支援ボランティア受け入れ施設があり、229人が介護支援ボランティア登録をし、自身ができる内容で活躍しています。地域で活躍してみませんか。

ボランティア活動の実情に応じてスタンプを取得し、その数に応じて年間最大5000円の交付金が得られます。現在では80カ所の介護支援ボランティア受け入れ施設があり、229人が介護支援ボランティア登録をし、自身ができる内容で活躍しています。地域で活躍してみませんか。

ボランティア活動の実情に応じてスタンプを取得し、その数に応じて年間最大5000円の交付金が得られます。現在では80カ所の介護支援ボランティア受け入れ施設があり、229人が介護支援ボランティア登録をし、自身ができる内容で活躍しています。地域で活躍してみませんか。

ボランティア活動の実情に応じてスタンプを取得し、その数に応じて年間最大5000円の交付金が得られます。現在では80カ所の介護支援ボランティア受け入れ施設があり、229人が介護支援ボランティア登録をし、自身ができる内容で活躍しています。地域で活躍してみませんか。

自分のために活動しています。人間性が豊かになり、心が優しくなります。苦しみは半分になり、楽になるのではと思っています。



通いの場応援隊による移動支援の様子

足腰が弱くなり、ずっと通っていた集まりをあきらめましたが「迎えに行くから」と言ってもらえ、再び行くことができ助かっています。ありがたいです。

65歳以上の皆さん

介護支援ボランティアとして活躍しませんか

対象 桑名市に住民票のある65歳以上で、介護保険料の滞納がない人

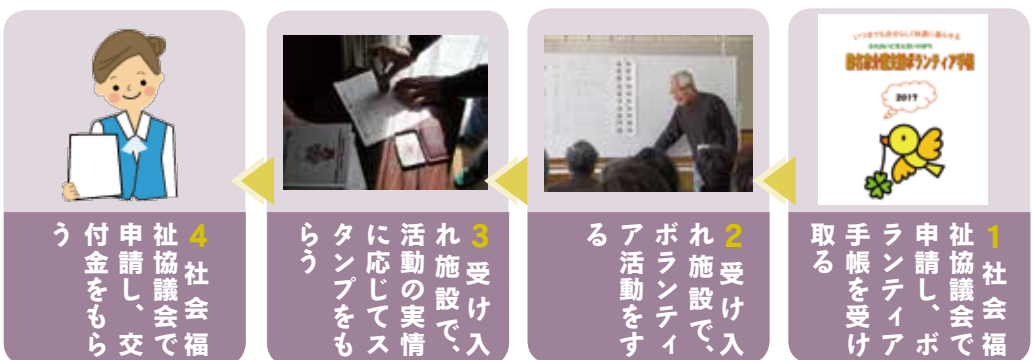
活動場所 介護施設、健康ケア教室など受け入れ施設

活動内容 ①レクリエーション等の指導・参加支援 ②お茶だしや食堂内の配膳・片づけ等の補助 ③散歩・外出・屋内移動の補助 ④施設内行事の会場設営等の補助 ⑤話し相手 ⑥施設職員と一緒にを行う補助的な作業 ⑦介護支援ボランティア間の移動支援 ⑧「通いの場応援隊」による移動支援 ⑨その他

登録申請先 社会福祉協議会

「通いの場応援隊」とは、総合事業対象者（介護認定区分が要支援1・2またはチェックリスト該当の人）に対し、通所型サービスB（宅老所等のシルバースロン、健康・ケア教室）を利用する場合に、自宅と会場間の移動支援をするボランティアのことをいいます。

介護支援ボランティア登録から交付金をもらうまでの流れ



《介護施設等の皆さん、ボランティアさんの活躍の場を一緒に作りませんか？》
介護支援ボランティアの受け入れをお考えの施設等は、市ホームページまたは窓口で申請書を取得し、介護予防支援室へご提出ください。申請後に社会福祉協議会よりスタンプをお渡しします。ボランティアさんが活動された実情に応じ、手帳に押印ください。

問 《詳細の問い合わせ・受け入れ施設申請書提出先》介護予防支援室 (☎ 24-5104 FAX 27-3273)
《介護支援ボランティア登録申請書提出先》社会福祉協議会 (☎ 22-8218 FAX 23-5079)

通いの場

紹介



参加者は桑名いきいき体操や口腔体操を真剣に行いました

元自治会長の近藤さんが、昨年5月に深谷地区の皆さんと健康仲間作りを目的とした「ふれ愛ふかや」を立ち上げました。毎回約25人が参加し、桑名いきいき体操や口腔体操など行っています（口腔体操とは、お口の代表的な体操の一つです）。健康推進員やボランティアの皆さんが中心にさまざまなアイデアを出し、女性部の皆さんが協力し、和気あいあいと活動しています。4月には桜に合わせて、地区のなじみのお寺までウォーキングを行いました。また、皆さんが継続して参加できる工夫として「出席カード型名

【活動日時】

第1日曜日 午前9時30分~10時
第3日曜日 午前9時30分~11時30分

【活動場所】 深江神社境内深江会館

【活動内容】 桑名いきいき体操、健康講話、ゲームなど

【対象】 深谷地区にお住まいの人

【お問い合わせ先】 代表：近藤さん
(☎090-5035-3689)

通いの場とは…

「介護予防」、「閉じこもり予防」、「健康づくり」のため、集会所などの場所で、地域の住民が運営する「地域住民の集う場」をいいます。

「札」を作成し、参加のたびに出席シールを貼っています。参加者は「もうすでに出席カードがシールでいっぱいになりました」「外に出るきっかけになりました」など笑顔で話もはずみまします。スタッフの皆さんは「活動に参加することで自分も元気になります」「こういう機会が大事だと気づきました」「新聞やニュースで介護や認知症の記事が目が向くようになりました」。今後は「スタッフで役割を交代しながら行いたい」「多くの人に参加してほしい」と話します。

ふれ愛ふかや（深谷地区）

オレンジカフェ（認知症カフェ）を開催します

認知症の人や、その家族、専門職や地域の人など、どなたでも気軽に集えるカフェ（認知症カフェ）です。市内にお住まいの人はどなたでも参加できます。

とき 6月16日(金) 午後1時30分~3時 場所 深谷市民館

問 介護予防支援室 (☎24-5104 FAX 27-3273)

三重おもいやり駐車場利用証更新のお知らせ

要介護高齢者および身体・知的・精神障害のある人、難病の人がお使いの利用証の有効期限は5年です。利用証に表示されている有効期限を確認して、有効期限までに更新手続きを行ってください。有効期限の3カ月前（例えば平成29年9月末が有効期限の利用証をお持ちの人は、平成29年7月1日）から手続きができます。

また、7月から上記の人の利用証の有効期限が廃止されます。6月以前に利用証の交付を受けた人は、更新手続きを行うことで利用証の交付要件に該当しなくなるまで使うことができます。

なお、障害等級の変更等で交付基準に該当しなくなった場合は、障害福祉課、県地域福祉課、県福祉事務所・保健所または郵送で利用証を必ず返却してください。

問 障害福祉課 (☎24-1171 FAX 24-5812)

県地域福祉課 (☎059-224-3349 FAX 059-224-3085)



ご確認ください！



7月からの新しい利用証